

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年4月

（1）トランスバーラ活着のポイントを実技を通じて学ぶ

4月18日、知名町のモデル農家ほ場において、肉用牛農家26人を対象に新たな飼料作物「トランスバーラ」の栽培現地研修会を開催しました。参加者全員で、実際に採苗を行い飼料畑への植え付けを行いました。植え付けは、活着率が高い条植えと株植えとし、畝間には雑草を抑える目的で牧草を播種しました。また、活着率を高めるためにはかん水が重要であることを説明しました。参加者は、実技体験を通じて、活着のポイントの理解を深めることができたようです。



（2）母の日に向け高品質トルコギキョウ生産技術を学ぶ

4月19日、沖永良部花き専門農協で、東京の花き市場担当者や種苗会社も出席したトルコギキョウ研究会の研修会が開催され、15人が参加しました。研修会では最近増加している自家育苗や本ぽでの生育状況、新品種の特徴や現在の販売状況を学びました。また、2か所で現地検討を行い、栽培方法や病虫害対策について、熱心に意見交換を行いました。今後、生産者の資質向上を図るために再度、研修会を行う予定です。

